

2021年度和歌山県立医科大学保健看護学部入学者選抜試験について（予告）

平成31年1月31日

令和元年9月30日追記(赤字箇所)

公立大学法人和歌山県立医科大学
保健看護学部

本学部では、「平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告について（平成29年7月13日付け文部科学省通知）」を踏まえ、学力の3要素（※1）を評価することができるよう2021年度入学者選抜試験（2020年度実施）を次のとおり実施します。

なお、今後、文部科学省及び大学入試センター等の大学入学者選抜に係る予告が変更になった場合、本学部の入学者選抜試験内容も変更する可能性があります。

※1 学力の3要素…

- ①知識・技能
- ②思考力・判断力・表現力
- ③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

1. 入試区分名称の変更

入試区分の名称を次のとおり変更します。

変更前	変更後
一般入学試験	一般選抜
推薦入学試験	学校推薦型選抜

2. 入試区分・募集人員について

平成31年度（2019年度）入学者選抜試験（以下「現行の入試」）と変更ありません。

3. 試験内容について

(1) 一般選抜（前期日程）

- ・ 現行の入試と同様に、二段階選抜を実施します。実施内容に変更はありません。
- ・ 大学入試センター試験に代わる大学入学共通テストを利用します。教科・科目は、現行の入試と同様に、5教科・5科目または6科目を課します。
- ・ 大学入学共通テストの教科・科目の詳細は次のとおりです。

国語……………「国語」必須

地理歴史・公民…「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、
「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目

数学……………「数学I・数学A」必須

理科……………「物理基礎」、「生物基礎」、「化学基礎」から2科目

または

「物理」、「生物」、「化学」から1科目

外国語……………「英語」（リスニングを含む）必須

* 地理歴史・公民、理科（基礎を付さない科目）の各教科で複数科目を受験した場合は、第1解答科目を合否判定に利用します。なお、理科（基礎を付した科目）と理科（基礎を付さない科目）を両方受験した場合は、いずれか高得点の成績を採用します。（地理歴史・公民及び理科の取扱いは現行の入試と変更はありません。）

* 国語と数学については、大学入学共通テストで出題されるマークシート式問題と記述式問題の両方を利用します。

* 国語の記述式問題については、段階別成績表示を点数化し、マークシート式問題の得点に加点します。

* 数学の記述式問題については、マークシート式問題と同様に配点されているので、マークシート式問題と同様の取扱いをします。

* 英語は、現行の入試と同様に、筆記及びリスニングを課します。

- ・ 英語の認定試験（※2）を出願資格として利用します。

出願資格は、文部科学省が公表しているCEFRの段階別成績表示による対照表のA2以上とします。

対象となる認定試験は、大学入試センターが認定したすべての試験を対象とします。

成績の確認は、大学入試センターが運営する「大学入試英語成績提供システム」（以下「成績提供システム」）を利用します。

成績提供システムが提供する成績が2回登録されている場合は、CEFRの段階別成績表示の良い方の成績を採用します。

※2 英語の認定試験…大学入試センターが認定した民間の資格・検定試験

- ・その他の出願資格については、現行の入試から変更する予定はありません。
- ・個別選抜は、現行の入試と同様に、小論文と面接を課します。小論文では論理的な思考力・判断力・表現力を評価する記述式問題の出題を予定しています。
- ・出願書類は、現行の入試と同様に、「調査書」の提出を求め、合否判定に活用します。

(2) 一般選抜（後期日程）

- ・現行の入試と同様に、二段階選抜を実施します。実施内容に変更はありません。
- ・大学入試センター試験に代わる大学入学共通テストを利用します。教科・科目は、現行の入試と同様に、5教科・5科目または6科目を課します。
- ・大学入学共通テストの教科・科目の詳細は次のとおりです。

国語……………「国語」必須

地理歴史・公民…「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、
「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目

数学……………「数学Ⅰ・数学A」必須

理科……………「物理基礎」、「生物基礎」、「化学基礎」から2科目

または

「物理」、「生物」、「化学」から1科目

外国語……………「英語」（リスニングを含む）必須

*地理歴史・公民、理科（基礎を付さない科目）の各教科で複数科目を受験した場合は、第1解答科目を合否判定に利用します。なお、理科（基礎を付した科目）と理科（基礎を付さない科目）を両方受験した場合は、いずれか高得点の成績を採用します。（地理歴史・公民及び理科の取扱いは現行の入試と変更はありません。）

*国語と数学については、大学入学共通テストで出題されるマークシート式問題と記述式問題の両方を利用します。

*国語の記述式問題については、段階別成績表示を点数化し、マークシート式問題の得点に加点します。

*数学の記述式問題については、マークシート式問題と同様に配点されているので、マークシート式問題と同様の取扱いをします。

*英語は、現行の入試と同様に、筆記及びリスニングを課します。

- ・英語の認定試験（※2）を出願資格として利用します。

出願資格は、文部科学省が公表しているCEFRの段階別成績表示による対照表のA2以上とします。

対象となる認定試験は、大学入試センターが認定したすべての試験を対象とします。

成績の確認は、成績提供システムを利用します。

成績提供システムが提供する成績が2回登録されている場合は、CEFRの段階別成績表示の良い方の成績を採用します。

- ・その他の出願資格については、現行の入試から変更する予定はありません。
- ・個別選抜は、総合問題と面接を課します。総合問題については、現行の入試と異なり、AとBに分けずに実施します。論理的な思考力・判断力・表現力を評価する記述式問題を含む出題を予定しています。
- ・出願書類は、現行の入試と同様の「調査書」に加え、新たに「総合的な評価のための申告書」の提出を求め、合否判定に活用します。
「総合的な評価のための申告書」とは、志願者が作成する、活動報告を含む大学入学希望理由書です。

(3) 学校推薦型選抜

- ・現行の入試で課している、総合問題 A と B を廃止し、新たに小論文と大学入学共通テストを課し、二段階選抜を実施します。
- ・第一段階選抜として、小論文と面接を実施（11 月下旬～12 月上旬を予定）し、第一段階選抜の合格発表を行います。小論文では論理的な思考力・判断力・表現力を評価する記述式問題の出題を予定しています。
- ・第二段階選抜として、大学入学共通テストを利用し、第一段階選抜の成績と合わせて合格発表を行います。大学入学共通テストの利用教科・科目は、3教科3科目または4科目を課します。
- ・大学入学共通テストの教科・科目の詳細は次のとおりです。
数学……………「数学 I・数学 A」必須
理科……………「物理基礎」、「生物基礎」、「化学基礎」から 2 科目
または
「物理」、「生物」、「化学」から 1 科目
外国語……………「英語」（リスニングを含む）必須

* 数学は、大学入学共通テストで出題されるマークシート式問題と記述式問題の両方を利用します。記述式問題については、マークシート式問題と同様に配点されているので、マークシート式問題と同様の取扱いをします。

* 理科（基礎を付さない科目）を複数科目受験した場合は、第 1 解答科目を合否判定に利用します。なお、理科（基礎を付した科目）と理科（基礎を付さない科目）を両方受験した場合は、いずれか高得点の成績を採用します。

* 英語は、筆記及びリスニングを課します。

- ・英語の認定試験（※2）を出願資格として利用します。

出願資格は、文部科学省が公表している CEFR の段階別成績表示による対照表の A2 以上とします。

対象となる認定試験は、大学入試センターが認定したすべての試験を対象とします。

成績の確認は、成績提供システムを利用します。

成績提供システムが提供する成績が2回登録されている場合は、CEFRの段階別成績表示の良い方の成績を採用します。

- その他の出願資格については、現行の入試から変更する予定はありません。
- 出願書類は、現行の入試と同様に、「調査書」、「推薦書」、「自己を語る」の提出を求め、合否判定に活用します。

「推薦書」は学校長が作成し、志願者の学習や活動の成果を踏まえた学力の3要素（※1）に関する評価についての記載を求めることを予定しています。

「自己を語る」は志願者が作成する、活動報告を含む大学入学希望理由書です。